



土山駅完成予想図

# バリアフリーの駅を目指す

## JR土山駅橋上化・自由通路工事が本格的にスタート

土山駅建設工事の概要とスケジュール

都市計画課 佐伯主幹

では、実際にどのように土山駅の工事が進められるのか、建設部都市計画課の佐伯主幹に聞きました。

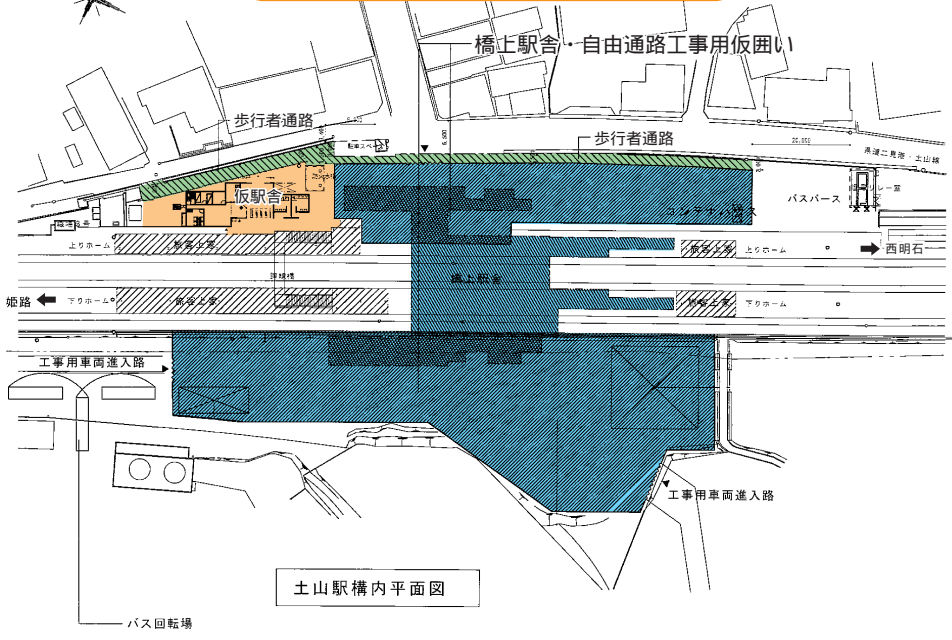
いよいよ来年一月から、土山駅自由通路と橋上駅舎の本體工事がスタートします。土山駅は自由通路の整備に合わせ、既存駅舎を建替えし、新しい駅は橋上駅となり自由通路と直結し、バリアフリーに配慮したエレベーターなどが設置され、南北の混雑緩和と駅利用者の方の利便性を向上させます。町広報十一月号に仮設駅舎工事のお願いについて掲載しましたが、自由通路及び駅舎の施設の概要と工事のスケジュールをお知らせします。この自由通路と橋上駅舎、そして駅の南北に設ける広場が完成しますと、土山駅周辺は播磨町の玄関口として、にぎわいのあるまちの拠点に変貌します。

### 平成十五年中は仮駅舎を利用ください 十六年から自由通路と新駅舎が利用可

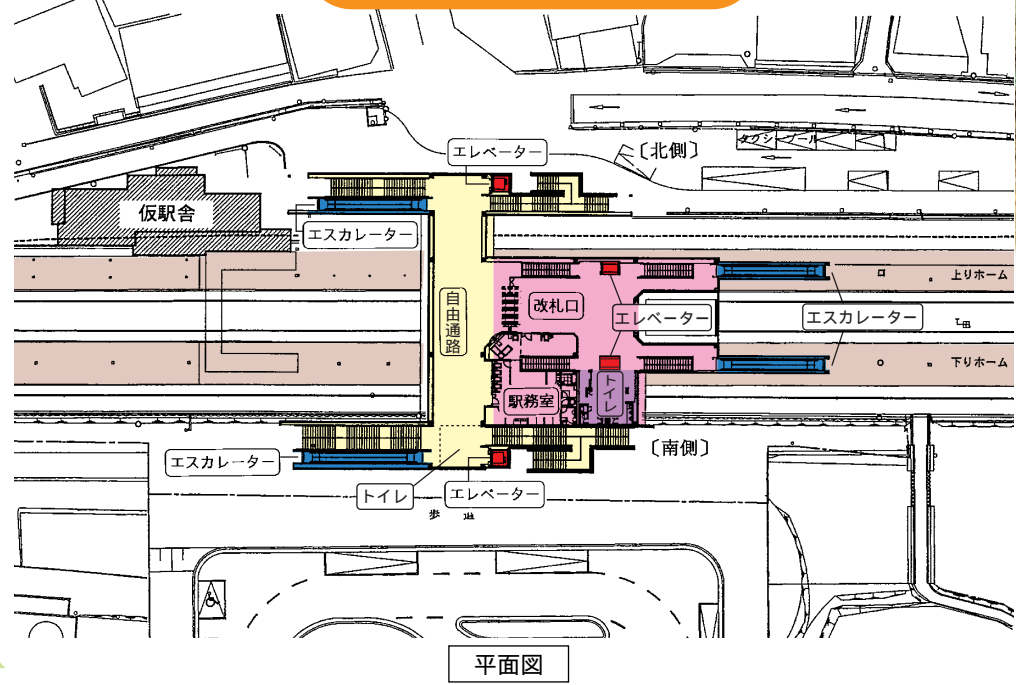
工事のスケジュールですが、現在進めています仮設駅舎工事を今年の十二月末までに完成し、来年一月から仮駅舎での改札を開始します。仮駅舎の改札の利用が始まれば、現在の駅舎を取り壊し、自由通路・橋上駅舎の工事に着手し、十五年十二月に完成

することになっていきます。完成後の十六年一月から、自由通路を南北から通って、新駅舎を利用することになります。その後、一月から三月までの間に、現在の跨線橋と仮設駅舎を取り壊し、十六年三月には、すべて完成する見込みです。

### 平成15年1月~12月 土山駅工事



### 平成16年1月~ 土山駅の新駅舎と自由通路



### 自由通路と駅にエレベーター、エスカレーター 駅のホームと電車との段差もなくす

自由通路は長さ約三十九メートル幅六メートルで、バリアフリーのため、駅の南と北の両側から利用できるエレベーターとエスカレーターを設けます。そして、南側広場に面して障害者用のトイレを設置します。また、橋上駅舎は改札口を

二階中央に、駅務室、トイレを南側に配置し、上り、下りホームとのエレベーター・エスカレーターも設けます。駅のホームについては、電車との乗り降りの段差をなくし、上りホームの一部を拡幅する予定です。

### 引続き広場など整備

橋上駅舎の完成にあわせて、南北広場や南側の駐輪場、歩道整備を進めますが、橋上駅舎完成より少し遅れることとなります。以上の計画により、土山駅周辺整備の早期完成を目指します。

駅南北地域の整備につきましては、現在、北側地区は地元住民による土山駅北地区まちづくり推進協議会を発足され、将来のまちづくりについて、研究などを重ねています。



土山駅北地区協議会の総会

また、南側地区の日本テルベン化学の用地は、駅南地区整備検討委員会で夢や意見をお聞きしながら、将来の土地利用の検討を進めています。この工事期間中は、駅利用者の方々や地域住民のみならず、大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をお願いします。